

3.11

ふおーさいと

東日本大震災特別編集版

Photo Gravure ②

復旧・復興へ

ドキュメント

東日本大震災と仙建協

Photo Gravure ①

3.11 仙台を襲った
巨大地震と大津波



建設業を通じて公共福祉の向上をめざす
社団法人 仙台建設業協会

FOR
2011 No. 55
FOLIO

記憶 後世に

震災への対応に紛れておりましたが、ようやくお届けさせていただきます。今号は、未曾有の大災害に地元建設業界がどう立ち向かったか、3月11日から今日までの仙建協の活動の一端をご報告させていただきます。われわれ地元建設業者は常日頃訴えてきた通り、

記録を残すことも協会の使命
日頃より皆様には、社団法人仙台建設業協会（仙建協）へのご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。また、今回の東日本大震災において尊い命を亡くされました方々に対し心からご冥福をお祈り致しますとともに、被害を受けられた皆様にはお見舞いを申し上げます。

さて、私どもの機関誌「ふぉーさいと」55号は、

震災への対応に紛れておりましたが、ようやくお届けさせていただきます。今号は、未曾有の大災害に地元建設業界がどう立ち向かったか、3月11日から今日までの仙建協の活動の一端をご報告させていただきます。

『ふぉーさいと』を活用すること致しました。地域のインフラの構築や維持を通し地域の安全・安心に貢献するという使命感を持って、発災直後から被災現場の第一線で作業に当たってきました。初めての体験の連続であり、今後の災害時に大いに参考になるはずですが、対応に追われ記録が疎かで、記憶も薄れていきそうなのが気掛かりでありました。今後の参考にして頂けるような記録を残すことも、協会の使命と思います。そこで記録の第一弾として、

地域と協働で復興に尽力し 地元建設業の使命果たそう



〔東日本大震災特別編集版〕

- 01 災害記録と協会の対応を後世に
河合正広仙建協会長メッセージ
- 03 記録～仙台を襲った
巨大地震と大津波
- 10 記録～復旧・復興に挑んだ
仙建協の対応
 - 民地がれき撤去・建物解体……11
 - 農地がれき撤去……………13
- 15 仙台市復興計画まとまる
- 16 DATA
東日本大震災・東北と仙台的被害状況
- 18 ドキュメント
東日本大震災と仙建協の対応





message

東日本大震災の 建設業界の対応

まだ道半ば、一分野からの報告でしかありませんが、少しでも参考になる情報を残せたらと思います。

ふるさと・仙台の本格復興目指して

仙建協は、平成3年に仙台市と災害時応急措置協定を結んでおり、それに対応して全会員会社参加の災害措置協力会を設置し、仙台市内5区と黒川郡の6つの作業隊を編成していざと言う時に備えて参りました。

宮城沖地震が何時起きてもおかしくないとわれていたことから、災害時活動の実効性を高めるよう、平成19年に対応マニュアルを改訂致しました。そして、発災3カ月前の昨年12月7日には、全会員企業参加による連絡体制、初動体制の確認を目的とした訓練を実施致しました。

特に、若林区隊においては区役所にも参加を頂いて、緊急工事の指示、作業実施、完了報告といった一連の訓練を行っており、本年3月発災直前、若林区役所においてその反省会を兼ねた会合を行ったばかりでした。

訓練や反省会を通して、災害時の取り組み方を共有していたことにより、発災当初から各区役所や町村と私も作業隊の連



携が比較的スムーズに運んだと思っております。

仙建協におきましては、地震発災後直ちに応急措置協力会本部を設置、駆けつけた人員で情報収集や連絡体制の確保を開始致しました。電話が途絶え、連絡は車や足が頼りという状況が続きスムーズな連絡がとれない中で、仙台市の各部署からの多様な要請に対して、できることは何にでも応えるという姿勢で対応しました。

通信の確保の問題は、昨年の訓練で指摘されておりましたが、未解決のまま震災を迎えてしまいました。しかしながら区役所を基点にした活動の基本はしっかり機能していました。これは、訓練の成果もさることながら、常々地元建設業者は市民の安全・安心に貢献します、災害時を思えば地元建設業の存在は重要だと訴えてきたことへの使命感が第一でした。社屋や資材、トラックや重機を津波に流されたり、自宅を失ったり、燃料や食料の調達に奔走したり、余震やそれによる津波の再来など二次災害の危険も感じながらも使命を果たすべく努力して参りました。

復旧だけでもまだまだ先の長いことです。地元建設業者として今後も使命感をもって、各方面の方々とも協力し合いながら、復旧・復興の作業に出来る限りの努力をしてまいります。今後ともよろしくご支援のほど、お願い申し上げます。

社団法人 仙台建設業協会
会長 河合 正広



大津波に襲われた東部地域
(写真提供=仙台市)

Photo Gravure ①

仙台を襲った

巨大地震と大津波

2011年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とする国内観測史上最大のマグニチュード9.0、最大震度7を記録した東日本大震災が発生した。直後に発生した大津波によって仙台市では沿岸部が壊滅的被害を受けたが、内陸部でも電気、ガス、水道という生活の生命線が破壊されたほか、ビル、宅地、インフラに大きな爪痕を残した。そうした中、仙台建設業協会は仙台市との災害協定に基づいて迅速に対応した。「3.11」からこれまでをグラフィアで紹介する。



救助を待つ荒浜小学校の児童たち
(写真提供＝仙台市)

南蒲生浄化センター（上下とも）では職員など101人が4階建て建物の屋上に避難した（写真提供＝仙台市）



仙台港周辺

東北唯一の特定重要港湾である仙台港は東北の物流基地としての役割を担っていただけでなく、近年は背後地に公共施設や商業施設が次々に整備され、仙台市の新たな観光拠点として活気づいていた地域だった。しかし、津波が一瞬にしてすべてを飲み込んだ。

石油コンビナートの火災（写真提供＝仙台市）



大打撃を受け使用不能に追い込まれた夢メッセみやぎ



道路には流されてきた車やがれきが散乱した。石油コンビナートから火災が発生すると、この付近だけ黒い雲に覆われた



線路上に多くのコンテナが流されてきた



爪痕が生々しい企業の倉庫



若林区井土地区（写真提供＝仙台市）



盛土構造が多くの命を救った仙台東部道路



津波に飲まれた若林区の荒浜小学校



防潮林がわずかに残っただけの若林区荒浜地区



沿岸部

仙台港から南側の沿岸部はおおよそ7m～10mの大津波に見舞われた。市街地から沿岸部に向かうと仙台東部道路を境に風景が一変。住宅地だったと思われるところはがれきの山と化し、ひしゃげた車が散乱していた。海沿いにあった松並木の多くは流され歯抜け状態になった。

市街地

宮城県沖地震や阪神淡路大震災の後、建築物の耐震性が重視されるようになり、古い建築物も耐震補強を行うなど地震に対する備えは進んでいたはずだった。震度6前後を観測した仙台市内はJR仙台駅で天井が落下する被害が発生したほか、地震に強いとされる鉄筋コンクリートのビルも崩壊し、自然災害の前に人類の無力さをまざまざと見せつけられた。

天井が落下したJR仙台駅の新幹線ホーム（写真提供＝JR東日本）



押し潰されたかのような宮城野区内のビル



亀裂ができた太白区内の道路



太白区にある商業施設の立体駐車場。通路が落下した



土砂崩壊で崩れ落ちる寸前の家屋（青葉区西花苑）



地割れにより庭が沈下（青葉区折立）



丘陵宅地

仙台市内の宅地被害は青葉区1、289件、太白区1、365件、宮城野区484件、泉区892件の計4、031件に上った。特に青葉区西部に位置する折立や西花苑などの古い造成宅地は土砂崩壊や地盤沈下、地割れなどの甚大な被害が随所で発生した。

発災直後から6作業隊で必死の作業

宮城県建設業協会傘下の支部で最も会員数が多い仙台建設業協会。地震規模も津波も「想定外」の東日本大震災の中で、地域を守るために必死の作業が続いた。

地震発生後すぐに河合正広会長は事務局に駆け付け、災害応急措置協力会本部を立ち上げた。

災害応急措置協力会は会員会社の所在地によって割り振った仙台市内5区と、大和・富谷・大衡地区を合わせた6つの作業隊で組織される。

地震直後の本部には青葉区内の数社が集合できただけで、停電や通信手段の断絶により他区の作業隊とはまったく連絡が取れない状態が続いた。

しかし、その間にも各作業隊は区役所などと打ち合わせを行い、道路啓開や行方不明者捜索のためのがれき撤去を行った。例えば津波被害が甚大だった若林区作業隊は、前年12月の災害支援訓練が功を奏し、区役所と連携しながら速やかに応急復旧

に当たることができた。こうした中、物品や重機の手配後にキャンセルが入るなど行政の混乱も見られたほか、深刻な燃料不足も迅速な対応の足かせとなった。

多くの会員が被災した。中には実家が流され、身内の安否が確認できないままがれき撤去に当たる作業員もいた。遺体を目にするのが避けられない状況の中、作業員の精神的な負担への配慮も課題の一つだった。



津波で分断された県道塩釜亘理線の緊急復旧（3月18日）



若林区井土地区の道路啓開（3月18日）



自衛隊と協力し遺体捜索（4月9日）



震災直後に立ち上げた災害応急措置協力会本部（3月11日）

仙建協の対応

復旧作業①

沿岸宅地のがれき撤去 家屋解体

未曾有の大震災は、仙台のまちに大きな爪痕を残した。発生した大量の災害廃棄物は、仙台市の推定によると約135・2万t。平時の約3年分に相当するという膨大なものとなった。仙台市から要請を受けた仙建協会員は、綿密な計画立てと細やかな打ち合わせを重ね、がれき撤去を組織的に展開した。





〔津波漂流がれき等撤去の対象地域図〕



第1班(16社)
蒲生・中野地区
班長・奥田建設

第2班(12社)
蒲生・岡田地区
班長・日建工業

第3班(8社)
七郷地区
班長・深松組

第4班(15社)
六郷地区
班長・橋本店

■沿岸宅地

仙台市のがれき撤去は4月22日から本格的に開始した。まずは宅地内から着手し、仙建協会員51社が4班編成(159パーティー)で作業をスタート。各班の班長を奥田建設、日建工業、深松組、橋本店が務め、綿密な作業計画を立てて各社が連携。当初8月までを見込んでいた作業はおおむね7月末で完了した。

■家屋解体

6月13日からは損壊した家屋の解体・撤去作業に本格着手。地震や津波で被害を受けた建物は倒壊の危険性も高く、安定しない地盤や狭い場所での重機の使用といった厳しい作業条件もあることから、安全には特段の注意を払いながら進められた。家屋解体は仙建協会員40社と宮城県解体工事業協同組合が担当し、12月20日現在で仙建協は2,619件、解体組合は3,701件を請け負った。2011年度いっぱいには所有者の申請に基づいて市内の家屋解体作業が続く。

■がれき搬入場

沿岸部の蒲生、荒浜、井土地区には3ヵ所で計100haの広大な搬入場が整備され、震災発生から1年以内を目標にがれきを搬入している。場内ではできる限りの再資源化を目指して分別の徹底が図られている。



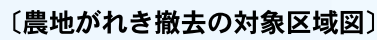
農地のがれき撤去

■農地

7月からは、農地に漂着しがれきの撤去に移行した。浸水地域の農地は約1,800ha。農地は5工区に分けて、会員54社（180パーティー）が作業に当たった。宅地のがれき撤去の4班（奥田建設、日建工業、深松組、橋本店）に加え熱海建設を班長社とする5班体制だ。

作業は津波浸水地域の西側から東側に向かって進められ、3ヵ月後の9月末までに6割程度（面積ベース）が完了した。当初、2011年度末までかかると思われていた農地のがれき撤去作業だが、被災農家や地元農協、土地改良区の協力を得て年内に完了することができた。今後は草や土砂の搬出作業にとりかかる。





復興への道を、 ひたむきに一歩ずつ



民地はがれき撤去が完全に終了し、整然としているが建物基礎だけがむき出しになっている痛々しい風景が広がる。仙建協ががれき撤去した民地のほとんどが仙台市震災復興計画で集団移転の対象地域になっている。将来はこの場所に海岸防災林や丘陵形の公園を整備し、津波減災のために役立てられる予定だ。

農地はまだ一部でがれきの撤去作業が続いていたものの、ほとんどが完了していた。すでに畑を耕している農家もあり、少しずつではあるが復興に向けて歩み始めている。市の復興計画ではこれらの農地を「農と食のフロンティアゾーン」に位置付け、産学官が互いに協力し、市場競争力のある農作物への転換や6次産業化への促進などの取り組みを支援していく。



仙台市が5年間の震災復興計画を策定 堤防整備、県道かさ上げ、 集団移転などを推進

仙台市は2011年11月に震災復興計画を策定した。計画期間は11年度から15年度までの5年間。「新次元の防災・環境都市」を基本理念に掲げ、復興まちづくりの指針を示した。

津波防災対策として、海岸・河川堤防整備に加え県道塩釜亘理線のかさ上げや、海岸防災林整備など津波に対する「減災対策」を推進するほか、津波の予測浸水深が2mを超える地区を「災害危険区域」に指定し、住宅の新築や増築などを禁止して西側地域への集団移転を促す。併せて2013年度からの入居に向け復興公営住宅を整備する。

東部地域の土地利用については、港地区の被災企業の復旧支援や新たな成長産業の集積を促進する「港地区復興特区」、農地の集約・高度利用や6次産業化などを促進する「農と食のフロンティア」、東部海岸の復旧、スポーツ・レクリエーション施設の再整備に取り組む「海辺の交流再生」の3ゾーンを設定した。

このほか丘陵地区などの宅地再建については宅地復旧関連事業などによる復旧を推進。国の支援制度の対象にならない宅地は市独自の制度を創設し、復旧費用の一部を助成する。

復興計画に関連する事業費は約1兆円。計画の推進に当たっては、官民連携やPFIなどを活用した取り組みを進める。こうした中で、仙台建設業協会が果たす役割はますます大きくなる。



DATA 東日本大震災・東北と仙台の被害状況

■東日本大震災の概要

地震名	2011年東北地方太平洋沖地震
発生日時	2011年3月11日14時46分
震源地	三陸沖(牡鹿半島の東南東約130km付近)
震源の深さ	約24km
規模	マグニチュード9.0
震度	震度6強＝宮城県中部・南部、福島県中通り・浜通り
	震度6弱＝岩手県沿岸南部・内陸北部・内陸南部、福島県会津
	震度7＝宮城県北部

■仙台市内の被災状況(仙台市発表)

建物被害(10月23日現在)	全壊＝26,368件、大規模半壊＝20,996件、半壊＝56,810件、一部損壊＝103,230件
宅地被害(8月19日現在)	被災宅地＝4,031宅地(うち地盤のみ＝2,133宅地、擁壁のみ＝644宅地、地盤＋擁壁＝1,254宅地)
ライフライン関係(9月末現在)	
水道	浄水場・配水所等一部損傷、水道管破損により市内広域で断水
ガス	津波によりガス製造設備が被災、ガス管破損
下水道	津波により南浄化センターが壊滅的被害、マンホールの浮き上がり、下水道管破損
都市基盤整備(9月末現在)	
地下鉄	南北線＝泉中央駅～黒松駅間で高架橋・橋脚の損傷、レールの一部に歪み。八乙女駅で上屋を支える柱を固定するアンカーボルトの破断。このほか、駅舎等の壁・天井・内壁の亀裂損傷。 東西線＝工事用据付クレーン脚部損傷、トンネル資材破損、防音ハウス基礎ボルト破損、建設発生土処理場周辺部の崖崩落
道路	12,020路線のうち10,374ヵ所が被災、このうち津波被災は659ヵ所。通行止めは766ヵ所
橋梁	827橋のうち117橋が被災、このうち津波被災は75橋。通行止めは77橋
公園	仙台スタジアム＝コンコースのコンクリート落下、観客席、照明設備などが損壊 青葉山公園＝仙台城本丸跡東側の大規模な崖崩れ 海岸公園＝蒲生・荒浜・井戸地区で施設消失 八木山動物公園＝平面駐車場北側法面崩落、展示ホール壁亀裂
農林関係施設	排水機場関連＝50ヵ所損壊、幹・支線水路＝43,140mが機能不全、ため池＝47ヵ所が施設破損
河川関係施設	土砂・がれき等の堆積および護岸の崩壊
学校関係(9月末現在)	
小学校(震災直後)	使用不可＝8校、一部使用不可＝5校
中学校(同)	使用不可＝4校、一部使用不可＝5校

■仙台市内の被害額(11月28日現在)

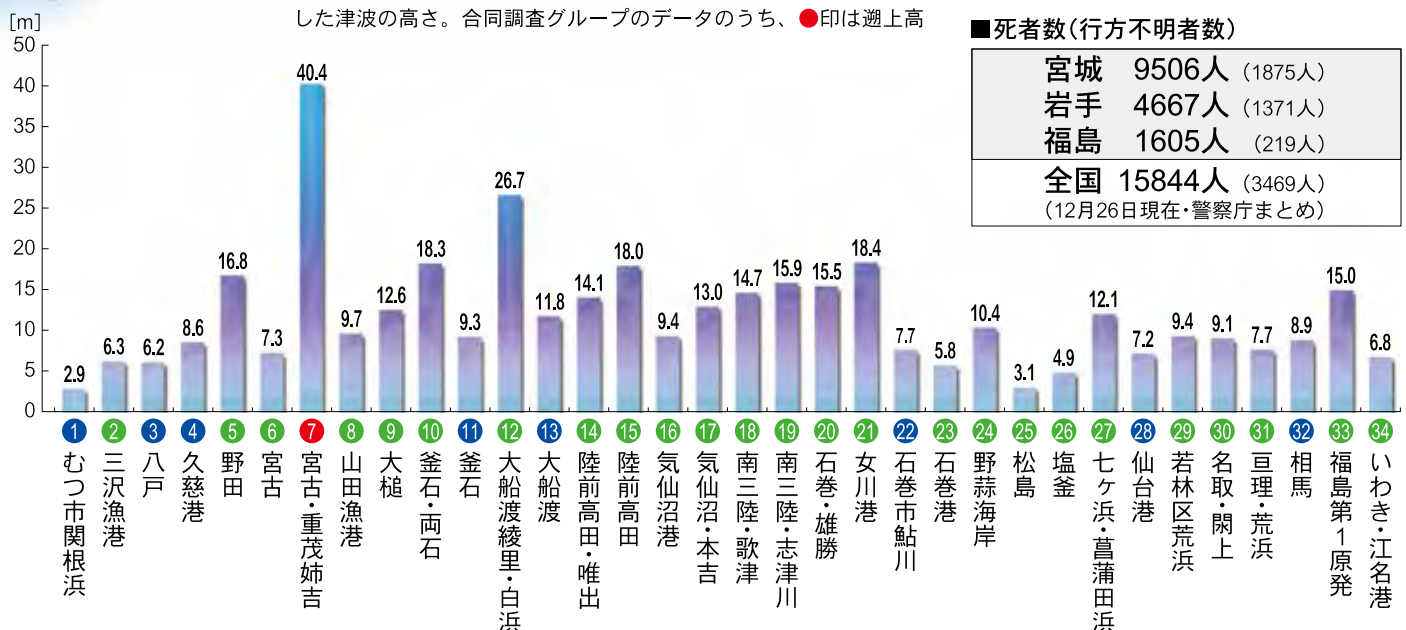
市有施設関係	約 3,270億円
その他公共施設	約 1,452億円
住家・宅地	約 5,528億円
農林水産業関係	約 729億円
商工業関係	約 2,147億円
被害推計額	約1兆3,126億円

■死者数(行方不明者数)

宮城	9506人 (1875人)
岩手	4667人 (1371人)
福島	1605人 (219人)
全国	15844人 (3469人)
(12月26日現在・警察庁まとめ)	

〔東北各地の津波の高さ〕

【注】●印は気象庁発表、福島第1原発は東京電力発表、●印は「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」がホームページで公開している数値。気象庁のデータはむつ市関根浜を除き、痕跡から推定した津波の高さ。合同調査グループのデータのうち、●印は遡上高



月日	□□	ドキュメント(主に宮城県関連)※行政機関発表資料及び各報道より	仙 建 協 の 動 き
3.25	23:00	警察庁集計・死者 1 万 0,102 人、行方不明者 1 万 7,053 人	○災害措置協力会作業に伴う清算事務プロジェクト会議 ○仙建協情報(6)「市との災害協定における費用負担について」 ○市下水道水路がれき撤去並びに下水管補修工事
3.26			□ 鹿児島県建設業協会川内支部大型バスに応援物資満載にして来訪 ○宮城野区内道路陥没箇所補修 ○茂庭台市民センター他補修
3.27	21:00	警察庁集計・死者は 1 万 0,804 人、行方不明者 1 万 6,244 人	○阿武隈川下流野田地区災害緊急工事
3.28	7:24 11:07 16:00 21:00	宮城県石巻市で震度 5 弱の地震 選抜高校野球大会 1 回戦。東北高が 0-7 で大垣日大高(岐阜)に敗れる 東北新幹線は 4 月下旬までに全線復旧と JR 東日本 警察庁集計・死者 1 万 1,004 人、行方不明者 1 万 7,339 人	○仙建協情報(7)「各行政機関からの通知について」 ○宮建協より会員の被害状況報告の依頼あり ○市岡田ポンプ場地下室排水等 ○海岸公園がれき集積場造成工事
3.29	10:00 21:00	宮城県災害対策本部、復興計画案を 6 月の県議会に提案と村井嘉浩知事 警察庁集計・死者 1 万 1,168 人、行方不明者 1 万 6,407 人	○太白区管内崖崩れ(鹿落旅館付近)対応 ○塩釜魚市場段差摺付・駐車場整備工事
3.30	10:05 21:00	宮城県災害対策本部、漁船約 1 万 2,000 隻が津波で大破・流失との調査結果公表 警察庁集計・死者 1 万 1,362 人、行方不明者 1 万 6,290 人	○がれき処理体制に向け出動可能会員調査 ○仙建協災害活動表示(マグネットシート)製作発注 ○県より災害調査通行票有効期間間延長通知
3.31	21:00	警察庁集計・死者 1 万 1,532 人、行方不明者 1 万 6,441 人	○宮城野区長より公園ゴミ搬出業務の指示書交付 ○本部長名「作業出動状況について」各社へ報告を求める ○松陵市民センター被害状況調査
4.1	10:52 17:30 ごろ 21:00	仙台市の辞令交付式で奥山恵美子市長が新人職員を激励 菅首相、今回の大地震による災害の名称を「東日本大震災」に決定したと発表 警察庁集計・死者 1 万 1,734 人、行方不明者 1 万 6,375 人	○市より震災廃棄物処理車輛に宮城野区委託車輛の表示指示あり ○仙台港背後地 3 号公園に被災車両仮置場設置工事依頼 ○西原・岡田・北新田・荒浜各ポンプ場の泥吸出し排水作業
4.2	20:00	警察庁集計・死者 1 万 1,938 人、行方不明者 1 万 5,478 人	○委託車輛の表示配布を 4 日 8:00 から頒布することを通知 ○宮城野区役所タイル落下防止措置工事 ○下水道管理センター水路ブロック崩壊撤去
4.3	12:00 すぎ 18:00 すぎ	宮城県南三陸町の住民約 1,100 人の集団避難で、第 1 陣が出発 被災 3 県で自衛隊と米軍などが実施した集中捜索終了。計 78 遺体を収容	○市道新川ハイランド線道路補修
4.4	20:00	警察庁集計・死者 1 万 2,259 人、行方不明者 1 万 5,315 人	○仙台港湾事務所津波被害車輛撤去作業 ○宮城野区道路区域がれき撤去作業 ○宮城野区震災ゴミ公園臨時集積所搬出作業 ○教育局発注各小中学校応急復旧工事 ○鶴ヶ谷第二市営住宅応急修繕
4.5	20:00	警察庁集計・死者 1 万 2,431 人、行方不明者 1 万 5,153 人	○株ギアワールドからマスク 10 万枚寄贈の申し出 ○宅地内津波漂着がれき出動可能会員調査 □ 仙建協 情報(8)「仙台市発注工事における部分払い等の取扱いについて」 ○長町中学校被害状況調査
4.6	16:00	震源域海底が東南東に約 24 m 移動し、約 3 m 隆起の地殻変動と海上保安庁	○宮城野区岩切地内舗装復旧工事
4.7	11:45 ごろ 23:32	復旧・復興の今年度第 1 次補正予算は 4 兆円規模を目指すと政府首脳会議 宮城県で震度 6 強の地震、宮城県太平洋沿岸に津波警報	○市災害復旧工事のための特例措置を発表 ○建設新聞社による河合会長インタビュー「震災 1 ヶ月を迎えて」 ○若林地区自衛隊捜索活動補助がれき撤去作業増派
4.8	8:00 9:30 20:00	警察庁集計・7 日の地震による重軽傷者は東北 6 県で 132 人 総務省消防庁集計によると、7 日の地震によって宮城、山形両県で 2 人死亡 警察庁集計・死者 1 万 2,787 人、不明者 1 万 4,991 人に	○7 日発生日震による被害箇所パトロール ○7 日発生日震による大崎広域水道破損緊急修繕 ○遠見塚小屋内運動場、上愛子小学校舎緊急修繕 ○市に震災廃棄物処理について提案 ○宮城野道路がれき業務現場照会事項に市から回答 ○災害措置協力会作業隊出動報告書を週ごとの提出に変更 ○市道新川ハイランド線道路段差摺付工事 ○宮城野区岩切地内舗装復旧工事
4.9	18:42	宮城県北部で震度 5 弱の地震	○仙建協情報(9)「仙台市災害復旧の工事契約の特例について」 ○名取川堤防(右岸)天端クラック注入 ○岩切地区ため池堤防シート張り ○市教育局発注各小中学校応急復旧工事 ○鶴ヶ谷国見線(南光台工区)災害復旧工事 ○宮城野区管内榴岡二丁目地内他安全施設設置
4.11	14:46 19:00	地震発生時刻。各地で黙とう 警察庁集計・死者 1 万 3,130 人、行方不明者 1 万 3,718 人	○市環境局より被災自動車の取り扱いについて情報提供あり ○宮城県企業局緊急水替ポンプ納入 ○苦竹ポンプ場ブロック崩壊撤去作業
4.12	19:00	警察庁集計・死者 1 万 3,232 人、行方不明者 1 万 4,554 人	○仙建協情報(10)「震災廃棄物処理に関する国の方針について」 ○がれき処理対応について協会から市へ提案 ○石巻など宮建協の被災支部へマスク 5 万枚を送付 ○宅地がれき撤去作業について市環境局と打合せ ○小鶴二丁目黒門こ線橋補修工事 ○宮城野区管内道路路面補修工事
4.13	17:30 19:00	政府税制調査会全体会合。被災者支援に向けた税制特例措置を決定 警察庁集計・死者 1 万 3,392 人、行方不明者 1 万 5,133 人	○宅地津波漂着がれき撤去作業作業班長会議 ○正副会長地元金融機関に会員への融資について要望 ○市消防局所管人命捜索啓開作業内訳表提出
4.14	14:00 19:00	復興構想会議初会合 警察庁集計・死者 1 万 3,498 人、行方不明者 1 万 4,734 人	○津波被害家畜等処理作業 ○宮城野区安養寺地区道路補修工事へクラック碎石砂詰め～ ○市へ災害廃棄物処理事業の慎重な取り扱いについて要望
4.15	16:10 ごろ 19:00	枝野幸男官房長官「復興債には十分な議論と検討がなされるべきだ」 警察庁集計・死者 1 万 3,591 人、行方不明者 1 万 4,497 人	○会長名で「民地のがれき処理に伴う注意喚起について」通知 ○震災がれき運搬車輛の登録について参加員に指示 ○宅地内津波漂着がれき等撤去作業指示書交付及び説明会
4.16	18:00	警察庁集計・死者 1 万 3,705 人、行方不明者 1 万 4,175 人	○仙建協情報(11)「がれき処理開始に伴うマスコミ取材及び労務・安全管理委員会パトロールの実施について」 ○宅地津波漂着がれき撤去作業開始 ○労務安全委員会・安全指導員会臨時パトロール実施
4.18	8:30 ごろ 15:30	宮城県南三陸町の公立志津川病院が避難所敷地内で診療を全面再開 七十七銀行、公的資金による資本注入の申請検討を開始すると発表	
4.19	9:00 ごろ	仙台市若林区の 2 校が間借り先で始業式	
4.20	10:00 ごろ	総務省が被災 3 県の地上デジタル放送への完全移行を最大 1 年延期と発表	
4.21	5:11 10:00	JR 東北線・仙台-一ノ関間で運転再開、東北線は全線復旧 県が復興工程を発表。「3 万戸の仮設住宅建設を 9 月末までに完了させる」	
4.22	15:00	JR 東日本、東北新幹線が 29 日に全線で運転を再開すると発表	
4.23	9:00	マリニピア松島水族館が営業再開。ケープペンギンの赤ちゃんお披露目	
4.24	8:00 ごろ 10:00	宮城県気仙沼市で、海中に沈んだ被災船の撤去作業開始 石巻市・大川小が死亡・行方不明の当時 6 年生の保護者に卒業証書を授与	
4.25	6:02 11:00	東北新幹線仙台-福島間で運転を再開、45 日ぶりに仙台-東京間が直通運転 日本製紙石巻工場に巨大なこいのぼり。おなかに「Power of Nippon」の文字	□ 仙建協情報(12)「宮城労働局集中パトロール・安全講和開催についで」 ○個人住宅等解体作業の出動可能会員調査 ○宮城労働局と厚生労働省講習会実施について協議 ○仙建協情報(13)「衣料品提供の中止について」 ○廃棄物処理について市環境局と各部隊班長社協議
4.26	12:55	村井知事が女川原発の立ち入り調査	
4.27	13:01 16:15 ごろ	天皇、皇后両陛下が南三陸町へ。両陛下は大量のがれきが残る町並みに黙礼 両陛下が仙台市宮城野区の体育館へ	
4.28	10:00 ごろ 16:00	各地で四十九日法要。大川小では体育館に 84 人全員の写真が掲げられる 宮城県東松島市の仮埋葬場で合同法要	○市道路計画課と災害調査関係打合せ
4.29	6:40 9:00 15:43	東北新幹線の東京-新青森が全線で運転再開 松島遊覧船が運航再開 フルスタ開幕。楽天、田中投手の完投でオリックスに 3-1 で勝利	○市環境局より捜索隊 4 月分の請求を準備するよう指示
4.30	15:10	2011 年度第 1 次補正予算が全会一致で可決。4 兆 153 億円	

月日	□□	ドキュメント(主に宮城県関連) □ 行政機関発表資料及び各報道より	仙 建 協 の 動 き
3.11	14:46 14:49 14:52 15:00 15:04 15:05 15:55 16:00 16:13 18:16 20:07 22:26	宮城県北部で震度7の地震。震源地は三陸沖。M8.8は観測史上最大 気象庁が東日本の太平洋沿岸に大津波警報発令。各地で死傷者や不明者 宮城県知事が陸上自衛隊に災害派遣を要請 東北電力女川原発が地震直後に自動停止 仙台空港は地震直後に滑走路閉鎖。午後4時前に津波で冠水 仙台市で大規模停電やガス漏れ、火災 仙台新港で高さ約10mの津波を確認 気象庁、今地震を「平成23(2011)年東北地方太平洋沖地震」と命名 宮城県ほぼ全域で停電 宮城県気仙沼市内で大規模火災 気象庁は震源の深さを約10kmから約24kmに修正 仙台市若林区荒浜で200～300人の遺体が見つかったと宮城県警	□ 15:30 災害協力本部立ち上げ □ □ 台市対策本部へ情報収集。混雑のため記者発表資料のみ持□ □ □ □ 16:30 第1回本部会議を開催。以後毎日15:00から本部会議、16:00から連絡会議(各社連絡員自由参加)を開催することに決定 ○電話不通のため参集者に毎日連絡会開催の旨伝達をお願いする ○災害協定に基づき各区作業隊緊急出動 ○災害協定に基づき国道の緊急巡回及び補修作□
3.12	0:04 0:16 0:33 6:01 6:28 10:02 10:10 12:00 19:30	昨夜午後11時現在、死者は110人、行方不明者は350人と警察庁 地震調査委員会、宮城県沖、茨城県沖など4つの領域が絡んだ地震と見解 国土地理院「宮城県内の約4mの地殻変動は観測史上最大」との見解 宮城県内の死者48人、行方不明32人、負傷者235人 宮城県の女川町役場が屋上まで水没。町が孤立状態 宮城県女川町の町立第四小学校で児童ら約300人が孤立状態 仙台空港ターミナルビル屋上に1,300人が孤立と報道 宮城県警は岩沼市と名取市の体育館に計約200人の遺体を搬送 地震直後に仙台市内で発生した火災35件が午後7時までに鎮火	○八木山橋及び仙台城石垣の被災調査、応急措置 ○環境局より各区がれき集積場所の設置準備依頼あり ○黒川地区作業隊道路復旧及び大崎広域水道復旧出動 ○国土交通省より名取川河川被害状況把握及び応急復旧の要請 ○津波被災地区道路啓開作業開始 ○荒浜原町線、塩釜互線がれき撤去作業 ○会員会社の被害状況及び安否確認□出動可否等情報収集
3.13	9:00 11:16 12:55 16:49 17:54 17:58 21:30 24:00	菅首相、自衛隊の災害派遣を10万人態勢に増強するよう指示 全壊や半壊、一部破損した建物が午前10時現在で2万棟超と総務省 気象庁が東日本大震災のマグニチュード(M)を8.8から9.0に修正 宮城県内の死者数について「万人単位になると思う」と村井知事 被災地域の13金融機関に計550億円の現金を供給と日銀 気象庁が太平洋側沿岸に出していた津波注意報を全面解除 警察庁集計・死者は12道都県で計1,353人、行方不明は5県で計1,085人 警察庁集計・死者、行方不明者が計3,200人超える	○仙台市避難所建物安全確認のため4チーム編成12名派遣 ○各作業隊長より作業報告あり ○南蒲生下水処理場付近の道路がれき除去要請あり。宮城野隊が市□と協議 ○宮城野区から石油コンビナートへ向かう道路のがれき除去要請 □ 21:00 蒲生下水処理場、石油コンビナートの要請は火災で危険のため中止指示あり。自衛隊のみで対応することになる ○国道45号啓開作業 ○高野原団地法面陥没箇所復旧工事 ○富谷町学校緊急修繕
3.14	6:30 8:00 10:50 11:01 11:03 12:00 17:04	総務省消防庁集計で全壊や半壊、一部破損した建物が計5万2,378棟に 死者は1,598人、行方不明者は1,720人と警察庁 宮城県の牡鹿半島の浜辺に約1,000人の遺体が見つかり上げられていると県警 東京電力福島第1原発3号機で水素爆発 南三陸町でも14日までの捜索で約1,000人の遺体発見と県 震災の死者は1,647人、行方不明は1,720人と警察庁 被災地の各警察まとめて、死亡・行方不明が5,000人を超える	○宮城野区より宮城野隊へ石油コンビナートの道路啓開再依頼 ○仙台市へ燃料確保等災害復旧対応についての緊急要望書提出 ○泉海洋センター法面被害措置要請 ○仙台河川国道事務所より堤防修繕～名取川、阿武隈川～ ○仙台東部道路仙台港インター仮設防護柵復旧 ○市内小学校、保育所ほか公共施設点検要請 ○仙台城石垣の応急措置は文化財のため一時中止となる
3.15	9:48 15:14 15:30 16:47 20:00 22:31	東京株式市場の日経平均株価が半年ぶりに9,000円を割り込む 政府、被災地に限定し統一地方選延期の特例法案を16日閣議決定へ 警察庁集計・死者は2,722人、行方不明者は3,742人 約1万人が安否不明となっていた南三陸町で約2,000人の無事を確認と県 警察庁集計・死者3,373人、行方不明者6,746人で合わせて1万人を超える 静岡県東部で震度6強の地震。M6.4	○福島県原発事故に絡み雨天時作業中止の協定方針を各社に連絡 □ 若林隊長より応援要請。若林区建設部と協議し他隊投入の了解得□ ○市水道局より泉区福岡浄水所法面緊急補修要請 ○県要請受け災害調査通行票交付手続を協会が一括処理する旨通知 ○県警より散水車提供依頼あり2台確保 □ 仙台市道路計画課より荒浜の橋樑修方法現場検証に協同行依頼 □ 16:45 現在でFAXモニターレポート無応答10社
3.16	9:30 16:00 16:03 16:30 22:00	警察庁集計・死者が3,676人、行方不明者が7,845人 警察庁集計・死者は3,771人、行方不明者は8,181人 菅首相「2万6,000人以上を救出した一方で、死者、行方不明者は1万人超」 「皆がいたわり合い、この不幸を乗り越えることを願っています」と天皇陛下 警察庁集計・死者は4,277人、行方不明者は8,194人	○通行認可手続きに各社来訪。午前中途切れず大いに混乱する □ 市より軽油情報。早朝、市職員同行し現金で2□確保。奥山工業給□基地に一時保管 ○福岡浄水所復旧出動より軽油調達依頼あり。なんとか確保する□ □ から補給基地設置のため至急コンパネ調達依頼。手配後中止指□ ○仙台港メッセ・アクセル内がれき除去作業開始
3.17	7:00 7:00 22:00	震災で全壊や半壊、一部損壊した建物は計10万0,396棟と総務省消防庁 東北電力、計画停電実施を見送り 警察庁集計・死者は5,692人、行方不明者は9,522人	○正副本部長・隊長合同会議(以降、合同会議は毎週水曜とする) ○市事務局作業室を2F会議室に開設。各社応援7名体制で編成 ○市の情報提供で被害農家からハウス用軽油500□を譲り受ける ○市から東部地区排水作業の要請 ○宮城野区港一丁目地内がれき撤去開始
3.18	11:14 23:00	被災地の統一選を延期する特例法案が参院本会議で可決、成立 警察庁集計・死者は6,911人、行方不明者は1万0,692人	□ 市「発注工事における部分払等に関する取り扱いについて」庁内通知 □ 市「東北地方太平洋沖地震に伴う緊急工事等の円滑な実施につ□て」 ○仙建協情報(1)「災害復旧資金について」全社FAX送付(以降各社のFAX・電話開通状況を逐次確認) ○仙建協情報(2)「19日からの3連休の本部体制について」 ○蒲生・岡田地区道路被災状況調査開始
3.19	23:00	警察庁集計・死者は7,653人、行方不明者は1万1,746人	○市スポーツ事業団より青葉区体育館点検依頼 ○建設新聞社より軽油2□提供あり。 ○市消防局不明者捜索補助依頼。重機によるがれき除去作業開始 ○高砂排水機場ポンプ仮設排水開始 □ 仙建協情報(3)「災害通行票並びに緊急通行票の取り扱いについて」 ○大堀排水機場ポンプ仮設排水開始 ○学校・体育館等落下の恐れある部分の除去作業
3.20	16:00 23:00	石巻市の崩壊した住宅から80歳の女性と16歳の少年を救出と県警 警察庁集計で死者は8,450人、行方不明者は1万2,909人	○若林区道路流木除去作業 ○二郷堀排水機場ポンプ仮設・水路がれき撤去作業開始 ○消防局人命捜索補助荒浜・白鳥地区がれき撤去作業開始 ○市学校施設課依頼で学校被害調査 ○動物園園路施設復旧工事
3.21	12:50 21:00	パ・リーグが、東京電力と東北電力管内で4月中のナイターを実施せずと発表 警察庁集計・死者は8,805人、行方不明者は1万2,654人	○作業出動の情報提供を会員各社に本部長名で依頼 □ 仙建協情報(4)「今回の大震災に伴う資金貸付等について」「緊急通行票の取り扱いについて」 ○県仙台工事事務所依頼による堤防補修～貞山掘・五間堀川～ ○県道路公社橋梁補修足場組み立て ○市下水道マンホール調整舗装復旧 □ 各要請に対応するための調整等について協会運営方針を定め□
3.22	17:00 23:00	4月の統一地方選で、岩手、宮城、福島3県の延期決定と総務省 警察庁集計・死者は9,199人、行方不明者は1万3,786人	○市より「東北地方太平洋沖地震による被害を受けた建物へのり災証明書」に関する周知方応援依頼あり ○仙建協情報(5)「緊急工事の前払い等について他行政通知の周知」 ○広瀬川堤防上水道補修 ○加茂学校給食センター被害点検 ○みやぎ台斜面崩壊復旧工事 ○山連河・砂押川の堤防応急復旧工事
3.23	14:48 23:00	被害額が阪神大震災の約10兆円を上回る25兆円に上ると内閣府試算 警察庁集計・死者は9,523人、行方不明者は1万6,094人	○宮建協より活動報告提出するよう通知あり ○若林区管内道路上の損壊ブロック塀移動作業開始 ○青葉区管内倒壊ブロック撤去作業
3.24	6:00 17:21	東北道、磐越道の通行止め解除、全線通行可能に 宮城県で強い余震。石巻市で震度5弱	



(社)仙台建設業協会
会 員
(五十音順)

赤坂建設㈱
熱海建設㈱
㈱熱海工務店
㈱熱海店
㈱阿部和工務店
阿部建設㈱
㈱阿部砂利建設
㈱石井組
㈱泉工務店
栄喜工業㈱
遠藤建業㈱

遠藤工業㈱
遠藤吉照土建㈱
㈱小河原組
奥田建設㈱
奥山工業㈱
小野重機建設㈱
皆成建設㈱
海道建設㈱
㈱加賀
㈱片倉工務店
河北建設㈱
㈱鎌田建設
㈱環境保全センター
木皿建設㈱

金福建設㈱
栗村建設興業㈱
後藤工業㈱
㈱小松建設
サイト工業㈱
佐々良建設㈱
㈱さとう総業
㈱佐元工務店
㈱柴田建設工業
庄子建業㈱
伸和興業㈱
㈱鈴木建設
仙建工業㈱
仙台アスコン㈱

仙台土木建築工業㈱
仙舗建設㈱
大和建設㈱
㈱高工
高野建設㈱
鷹鷲建設㈱
㈱丹秀工務店
千田建設㈱
㈱千葉建設
通信道路㈱
東北共栄建設㈱
東北グレーダー㈱
東北二チレキ工事㈱
銅谷建設㈱

中城建設㈱
㈱永岡
中田建設工業㈱
㈱日啓工業
日建工業㈱
日道建設㈱
㈱橋本店
長谷川建設㈱
早坂産業㈱
東日本コンクリート㈱
㈱広瀬組
㈱深松組
㈱栢田組
㈱松川土木

㈱丸三建設興業
㈱丸鹿
丸武建設㈱
㈱三浦勇工務店
㈱三浦組
宮環建設㈱
八嶋建設㈱
山川建設㈱
山辰建設㈱
㈱湯目建設
㈱吉田工務店
ワーカー工業㈱
若葉建設㈱
㈱渡邊舗装工業

発行所 (社)仙台建設業協会 発行 2011年12月28日

STAFF

■発行人／河合正広 ■編集人／船山克也 ■編集スタッフ／長谷川淳・熊谷吉行・丹野秀明・菅原澄雄・寺嶋美姫・土屋祐子
■編集協力／建設新聞社 ■印刷・製本／建設プレス